1. 飲料水、農業用水の確保

多田川は、古川市外1郡多田川土地改良区が大崎土地改良区に大同合流し、農水産業用水として水を供給してきた重要な川である。

これを水源とする中新田簡易水道施設は地域住民303世帯に飲料水を供給し、農業用水としては水田630ヘクタール、受益戸数550戸をはじめ、渋井川、渋川、名蓋川に注ぎ、鳴瀬川本流へと連なり多くの人々に恩恵を与える母なる川であり、これが汚染されることは到底許されるものではない。

2. 道路の安全確保

搬入・搬出経路に予定されている加美町道胆沢線は、鳴子町、加美町、古川市を東西に結ぶ幹線道路であり、産業、生活、通学、通勤道路として、安全・安心をモットーにコミュニティ道路として整備したものである。

計画されている超大型ダンプの往復頻度は、一般利用者の恐怖心を招き、道路構築上から見た耐久度、沿線住民の情緒性、特に小・中・高校生の通学路、老人・心身障害者介護専用車などの唯一の安定路線を脅かすものである。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出いたします。

平成16年3月

宮城県加美町議会

議長 米木正二

宮城県知事 浅野史郎 へ

以上でございます。

議長（米木正二君） ここで提案者の趣旨説明をお願いいたします。藤原耕夫君、御登壇願います。

〔36番 藤原耕夫君 登壇〕

36番（藤原耕夫君） ただいま事務局長より朗読させました循環型廃棄物処理施設建設に反対する意見書（案）でございますが、趣旨は意見書（案）のとおりでございますので、このたび建設計画されている廃棄物処理施設は、安全な飲料水や農業用水の確保、そしてまた道路の安全を著しく脅かすものであります。地域住民の反対の声も大きく、これらの点を考察の上、意見書提出者としてしましては、どうか皆さん全員の御賛同をいただきますようお願い申し上げます、趣旨説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。（拍手）

議長（米木正二君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ございませんか。37番及川六郎君。

37番（及川六郎君） ただいまの提案者の趣旨説明で十二分に理解し、また施政方針でも町長が断固反対するという姿勢を示しておりますので、この件については緊急性を要するというところで私も賛意を表するわけでありますけれども、ただ、この産廃の問題で現段階で県の担当課でどのような状況になっているのか、把握しているのか、担当課の課長にお伺いしたいと思います。本日の段階でどうなっているのかについてお伺いいたします。

議長（米木正二君） 町民課長。

町民課長（澤口 信君） 町長の方からも話がありましたように、事前の事前の説明というようなことで、地域住民の方々は循環の方から説明を受けているということでございます。それも県の指導要綱に沿った形での説明会であるということで解釈しております。それで3月1日にそういった説明会を開催したのでというようなことで、県の方に株式会社循環が訪問したそうではありますが、まだその説明等々において地域住民の方々の理解等も得られていないようであるというようなことで、本申請なるものの受理はまだされていないというような現状でございます。ですから、今後説明会等々を要請があれば説明をし、その後に本申請という形になるかと思っております。私の方から答えるのはそれだけしか。（「本日段階ですか」の声あり）

議長（米木正二君） 37番。

37番（及川六郎君） 課長、その今の答弁は本日段階でということを受けとめてよろしいですか。きょうの段階で。

議長（米木正二君） 町民課長。

町民課長（澤口 信君） 本日段階と言われると何とも言いようがないんでありますが、先日3月2日に聞いた話でございます。その後動きがあれば、まだ何とも私の方では把握してませんので、確約したお答えはできないと思います。

議長（米木正二君） 37番。

37番（及川六郎君） 別に課長をとっちめるために言っているわけじゃありませんけれども、やっぱりきょう一般質問が終了後にこの意見書が取り扱われるということで、既に把握されていると思うんですよ。だとすれば、やっぱり本日の段階でどうなのかという担当課長として県の動きだとか何かを、やはりこの産廃問題というのは一日一日違うわけでありますから、そういう点での情報を素早く把握するというふうな姿勢が求められるわけでありますから、今後やはりそういう点での情報把握というものを、単に新聞だとかあるいは聞いたような話だけでは

なくて、やはりその窓口である県の担当課との緊密な連絡連携をとりまして、対応するべきだ
というふうに思いますけれども、その辺をひとつ確認したいというふうに思います。

議長（米木正二君） 町民課長。

町民課長（澤口 信君） その点につきましては大変申しわけなく思っております。きのう古
川の福祉事務所と話をした限りにおいては、その後の進展はないというようなことではお話は
聞いてございますが、あくまでも古川の話でございまして、実際申請等々につきましては産廃
の方の県庁の方に行くというような話を聞いてございますので、大変申しわけなく思っており
ます。おわび申し上げます。

議長（米木正二君） その他質疑ございませんか。（「なし」の声あり）質疑なしと認めます
。これにて質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論ございませんか。（「なし」の声あり）討論なしと認めま
す。これにて討論を終結いたします。

これより議発第1号循環型廃棄物処理施設建設に反対する意見書の提出についての採決を行
います。

お諮りいたします。本件は原案のとおり意見書を提出することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（米木正二君） 御異議なしと認めます。よって、議発第1号循環型廃棄物処理施設建設
に反対する意見書の提出については、原案のとおり提出することに決しました。

日程第4 議発第2号 循環型廃棄物処理施設建設に反対する要望決議

議長（米木正二君） 日程第4、議発第2号循環型廃棄物処理施設建設に反対する要望決議を
議題といたします。

事務局長をして朗読いたさせます。事務局長。（「朗読省略」の声あり）

議会事務局長（橋本謙一君）

議発第2号

循環型廃棄物処理施設建設に反対する要望決議

上記要望決議を別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出する。

平成16年3月11日

提出者	加美町議会議員	藤原耕夫
賛成者	同	一條光

同 近藤義次
同 米澤秋男
同 渡辺秀一

循環型廃棄物処理施設建設に反対する要望決議（案）

趣旨、要望理由につきましては、同じですので省略させていただきます。

平成16年3月

宮城県加美町議会

議長 米木正二

宮城県議会議長 渡辺和喜 へ

以上でございます。

議長（米木正二君） 議発第2号循環型廃棄物処理施設建設に反対する要望決議は、会議規則第38条第2項の規定により趣旨説明を省略いたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（米木正二君） 御異議なしと認めます。よって、議発第2号は趣旨説明を省略することに決定いたしました。

これより質疑を行います。質疑ございませんか。（「なし」の声あり）質疑なしと認めます。これにて質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論ございませんか。（「なし」の声あり）討論なしと認めます。これにて討論を終結いたします。

これより議発第2号循環型廃棄物処理施設建設に反対する要望決議の採決を行います。

お諮りいたします。本件は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（米木正二君） 御異議なしと認めます。よって、議発第2号循環型廃棄物処理施設建設に反対する要望決議は、原案のとおり可決することに決定いたしました。

以上をもちまして、本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会をいたします。

なお、明日は午前10時まで本議場に御参集願います。

大変お疲れさまでした。

午後5時26分 散会

上記会議の経過は、事務局長橋本謙一が調製したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成16年3月11日

加美町議会議長 米 木 正 二

署 名 議 員 及 川 六 郎

署 名 議 員 猪 股 信 俊